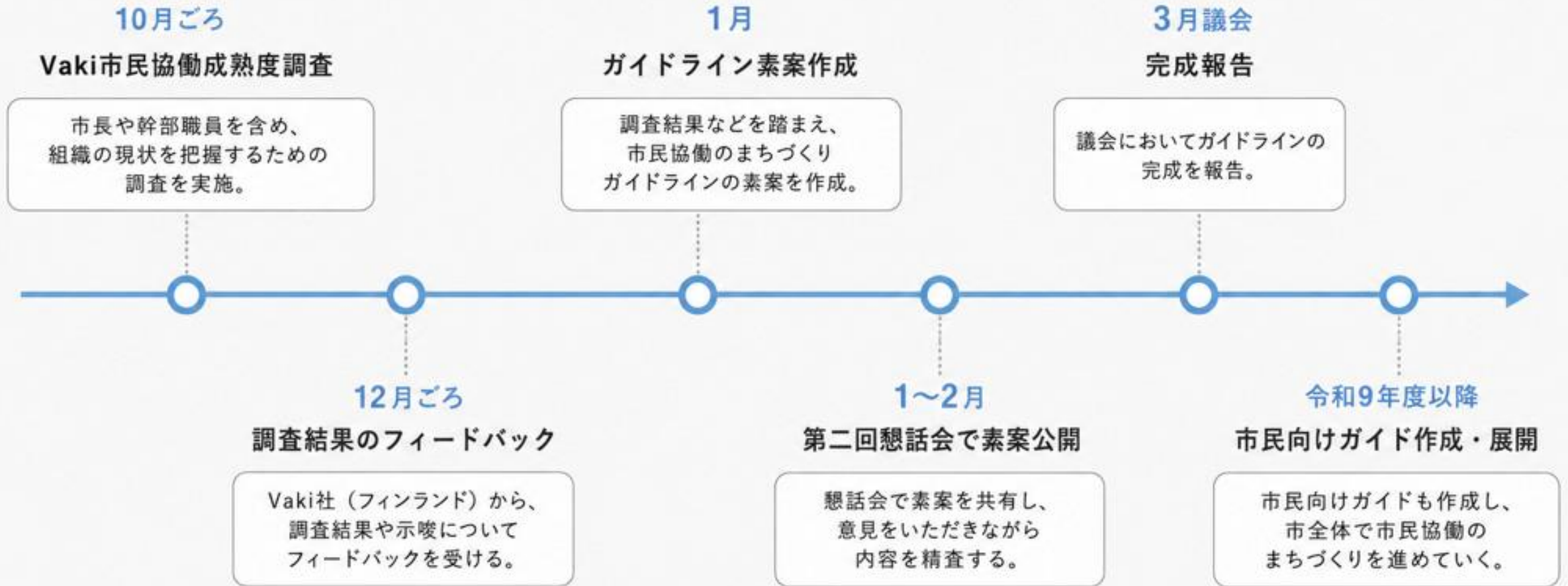


スケジュール

市民協働のまちづくりガイドライン策定



推進プランのような数的管理でなく、各事業を進めるうえで市民協働・参画の視点から取り入れられるような事例やアドバイスが掲載された手引きとして活用

市民協働の失敗事例

失敗から、よりよい協働を考える



❗ 結論ありきの意見聴取

決定後に聞いても、意見を反映できない

変えられる段階から聴く



❗ いつも同じ人だけが参加

一部の声を、市民全体の声にしない

対象に合わせて手法を変える



❗ 聞きっぱなしで終わる

反映結果が見えず、次の参加につながらない

反映・不採用の理由を返す

協働手法の事例

目的と担い手に応じて支援を選ぶ



資金的援助

まち活補助金

協働の担い手が主体となる事業を、政策目的の達成に向けて支援



資金以外の支援

後援名義

信用力や周知面から活動の後押し



事業委託

専門性や能力を活かして事業を実施

アウトカム評価：ヘルシンキ大学発 “Väki Insight” との市民との共創アセスメント

ヘルシンキ大学発SU “Väki Insight”社・弊社がMoUを締結。 市民と行政の共創プロセスの定量的評価を日野市などで推進。



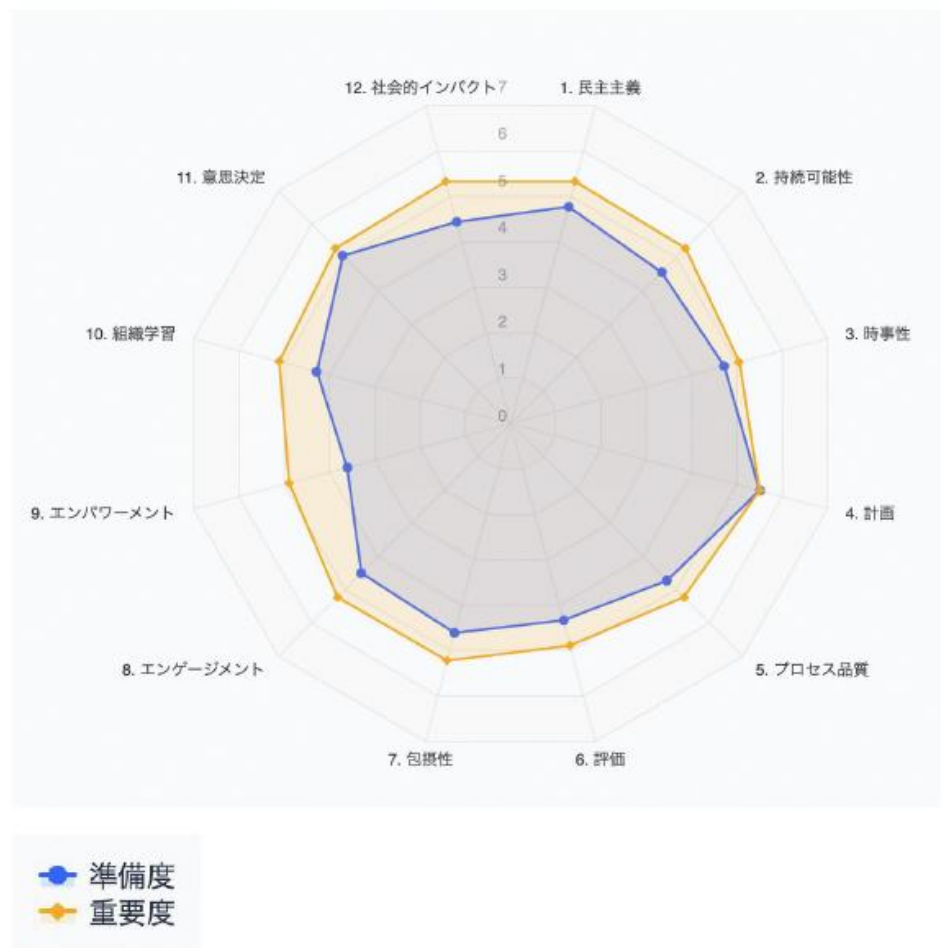
- ヘルシンキ大学発のスタートアップ
- 2018年からの市民と行政の共創に関する定量的研究“Co-Creation Radar”などをもとに、ヘルシンキ大学からスピナウト
- 市民と行政の共創アセスメントを行う
プロダクト「Readiness」「Snap」などを展開
- 欧州や韓国などで、プロダクトを用いたアセスメントを実施
- 2025年1月に、Liquitous社とMoU締結



- 日本発の民主主義スタートアップ
- 全国80以上の自治体で、市民参画プラットフォーム「Liqolid」の実装を進める。市民参画の価値の定量的評価は志向。
- 特に、Väki社が掲げる概念“Soft Competition”に強く共感。
各都市での参画・共創にかかる取り組みを定量的に評価・比較可能とし、都市間で参画・共創の施策競争が起こることを期待。
- Väki社とのプロダクトの実証は日野市・長岡京市などで実施予定



レディネスと重要度のギャップ



レディネスと重要度のギャップは、「市民参加の取り組みがどれだけ重要だと認識されているか」と「組織がそれを実行できる準備がどれだけ整っているか」の差を示すものです。

- **平均レディネス (4.6)**
- **平均重要度 (5.2)**
- **平均ギャップ (0.6)**

4つ全ての分野において、重要度がレディネスをわずかに上回っています。

分野別のギャップ

- Objectives (目的) **(0.5)**
- Implementation (実施) **(0.4)**
- Actors (主体) **(0.9)**
- Results (結果) **(0.6)**